

東京都生協連

2011年度 ピースアクションinヒロシマ 報告



日程 8月5日(金)、6日(土)

参加 東京保健生協(24名)、東京ほくと医療生協(6名) 東都生協(4名)、
パルシステム東京(6名)、東京南部生協(2名) 全労済東京都本部(9名)
事務局 木村、川延 計53名

参加団体は昨年より1団体減って6団体でしたが、参加者53名の内、小学生3名、中学生1名の参加もあり、東京保健生協からは昨年同様若い職員も多く、今年も幅広い年齢層の参加になりました。

初日は、飛行機の遅れで「虹のひろば」への参加が途中からとなり、松井一貫市長のメッセージが少ししか聞けなかったことは残念でしたが、広島平和教育研究所研究員の江種祐司さんの被爆の証言や全国から集まった各生協の展示コーナーを見学できました。また、今年は東日本大震災関連展示や支援の取組みも紹介され、被災生協へ向けた応援メッセージの贈呈もありました。核兵器廃絶と、福島原発事故とも絡めて平和利用も含めた核そのものの必要性を改めて考える場となりました。虹のひろば終了後はそれぞれの生協ごとに平和公園や市内のフィールドワークを行ないました。

その夜は東京都生協連のヒロシマ行動のメイン企画でもある「被爆者の皆さんとの交流会」を開催しました。被爆者の方の高齢化が進む中、証言者の皆さんのご負担も考慮し、3グループの予定を2グループに変更して行いました。

2日目は記念式典終了後から広島空港集合時間まで各生協ごとに工夫を凝らした組立てで、有意義に過ごしました。

目的

継承と創造 ～ヒロシマから平和な未来を築こう～

- ・ 被爆体験の継承として、これからにつなげていくために私たちの役割と私たちから発信できることを考えていきます。
- ・ 被爆から65年を経て国際世論が核軍縮へ歩みを進める中、核兵器のない未来を求める思いや、核兵器廃絶へ向けて各地の取り組みを共有します。
- ・ 東日本大震災の被災地・被災生協に対する全国の生協からの支援にあらわされた「人と人との絆の大切さ」や「生協として大切にしてきた助け合いの精神」を持ち寄り、平和なくらしの大切さを多くの人と分かち合います。



【虹のひろば】

主催者挨拶の後、松井一貫市長から、被爆者が高齢化する今こそ被爆者自身の体験や平和への思いを次世代が共有し、さらにその思いが世界に広がるようにしたい、皆でヒロシマと思いを共有し平和市長会議とともに「2020ピジョン」に向けて核兵器廃絶の取組み、世界恒久平和の実現に力を尽くし行動していきましょう、とのメッセージがありました。

決して許すことができない戦争と原爆、事実を世界中の人が知り、知った人が世界中に伝えることが、核兵器をなくすことにつながると信じ、願い、語り続けています。

江種さんの被爆体験とその後のお話から、平和の尊さ、生きていることの喜びと人間のすばらしさへの思い、そして何よりも戦争と原爆を憎む気持ちが強く伝わってきました。



江種祐司さん



第2部の「みんなのひろば」は、全国の生協や平和関連団体による出展ブースやインドネシアの子どもたちの絵、平和カルタや折りづる、紙芝居、そして被災生協への応援メッセージ等のコーナーがあり、多彩な催しに参加し、交流することができました。



フィナーレは虹のひろば合唱団による「そうれっしゃがやってきた」の合唱。子どもから大人までさまざまな団体が一つになって、力強く平和の喜びに満ちた歌声が会場いっぱいに響きわたりました。

【虹のひろばに参加しての感想より】

- ・ 江種さんのお話は生々しく、原爆の恐ろしさを身近に感じました。原爆が、放射能が今も人間を殺し続けているという言葉が印象的でした。
- ・ (被爆体験の話は) 何回も何回も話しながらたどり着いた言葉なのだと思うと、その言葉を受け止めて私は伝えていかなければならない一人だと感じました。
- ・ 何の罪もない動物まで犠牲になった戦争についてのフィナーレの合唱に感動しました。被爆者自身による被爆体験、平和への思いを共有できる虹のひろばに参加できてうれしく思います。
- ・ 全国各地の生協が様々な工夫で平和活動に参加していることがよくわかりました。
- ・ 平和カルタに参加して楽しかった。世界の子ども絵が色々見られて良かった。(子どもの感想より)

【被爆者の皆さんとの交流と参加者からの感想】

2グループに分かれて、お話を聞きました。思わしくない体調をお話して下さった方もおられ、語り継いでいなくてはという使命と思いを感じました。また、被爆体験記などの冊子や本の紹介もいただきました。



「原爆は危険なもの」という知識しかなかったが今回リアルな現状を知り、医療従事者として原爆は必ず廃絶しなければならないものであると感じた。今後の活動につなげていきたい。



話していただいた方が思ったよりも明るく若々しく、被爆後も前向きに生きてこられたことに感動しました。しかし今までどんなにつらかったことか。直接お話を聞けたことはとても良い経験でした。



一方的なお話でなく相互に意見を交わすことができよかった。参加者が考えていることを共有できてよかった。

「生きている私たちが伝えねば、」という気持ちをひしひしと感じました。心からありがとうと言わせていただきます。



【ピースアクション in ヒロシマに参加して】

- ・ 広島のこといろいろとわかり、命は大切だなと思いました。(子どもの感想より)
- ・ 初めて参加しました。またゆっくりと来たいと思います。世界中の人達にヒロシマを伝え、「核のない世界を」子供から大人にも広がるよう、小さな小さな力ですが、加わりたいと思います。
- ・ 実際にヒロシマの方にお会いし、話を聞き胸に響きました。自分の目で観ることの大切さを思います。亡くなった人々の思いが伝わってくるようでした。原爆、原発の廃止の気持ちが更に強くなりました。
- ・ 本物の言葉には恐ろしい程の痛みを感じます。きっと思い出したくない事でしょう。私も二度と聞きたくはない程凄惨な語りです。でもそういう語りをつないでこそ戦争を知らない子供達に伝えていかなければならないと強く思います。誰も語らなくなった時、又戦争が始まる時だと思えます。参加できて本当に良かったと思えます。



【全体を通してのご意見 (アンケートより)】

- ・ 有意義でした。東京都生協連としてこれからもどんどんメッセージを発して行動に移していけたらと思えました。
- ・ 世界唯一の被爆国、長崎・広島、こんどは原発の福島。これを通して原水爆保有国に廃絶運動を進めてほしい。
- ・ 各職種組合員さんと交流する機会が持ててよかったです。
- * この他日程に関して、1泊2日ではきついので2泊3日にしてほしいというご意見と、1泊の方が参加しやすくして良いというご意見がありました。

